

英 語 科 学 習 指 導 案

日 時	平成24年10月10日(水)	5校時
会 場	1年A組教室(校舎3階)	
生 徒	1年A組(男14名 女10名 計24名)	
授業者	菫輪 恵利子	

1 単元名 PROGRAM7 Dilo the Dolphin (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 単元について

(1) 教材観

- この学習材は、前の課で主人公の由紀が夏休みにイギリスに旅行をするが、その内容に関連している。本課PROGRAM7では、由紀がイギリスから持ち帰った子供向けの本をクラスの皆に見せ、主人公のDiloとその友人である双子の姉弟を紹介する内容である。生徒になじみのない人物を扱う題材で、名前を尋ねたくなる紙面構成によって、その名前を確認し、それぞれの人物について自分の気持ちを表明する展開になる。さらに、人になつきやすいイルカの話から、イギリスにおけるイルカ・ウォッチングとそれが行われる時期の確認を話題として取り扱う。したがって、名前や行動するときをたずねるときに必要な表現やその使い方を教科書を通して学び、実際に英語で運用できる力を養う。

(2) 生徒観

- 生徒のほとんどが市内の同一校出身であり、小学校で英語に触れてきている。そのため、中学校で習う語句や文法の中には「どこかで聞いたことがある」という生徒の反応も多い。また、英語塾に通っている生徒も数名いることから、個々の知識量と処理能力には大きな差がある。
- 「聞く活動」「話す活動」に比べると、「書く活動」は授業の中では多くないものの、その文家庭学習で取り組ませることもあり、授業中のチェックや個々の指導が必須である。週末の家庭学習や授業での語句の意味調べ等、根気が必要な活動にも真面目に取り組む生徒が多く、理解は難しい生徒も努力している。

(3) 指導観

- 新学習指導要領では「コミュニケーション能力を養う」ことが最重要の目標とされている。その他に(1)言語や文化に対する理解を深めること(2)積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ることの2項目である。この2項目は、コミュニケーションを養うために不可欠なものであり、相互に有機的な関係にある。PROGRAM7『Dilo the Dolphin』は、イギリスに興味を持たせるとともに、疑問詞のwho whenを使った応答文の運用や、代名詞の目的格 him, herを使って人を紹介するなど、コミュニケーションをしたくなるような場面設定の工夫をしたい。また、今年はロンドン・オリンピックがあったこともあり、様々な情報を取り入れながら、英語の本場であるイギリスに親近感を持たせたい。

(4) 研究とのかかわり

- 本時ゴールを明確にする課題設定<導入>
本時は、これまでの復習を使いながら、物事を行う時のたずね方を学習することを伝える。また、前の課同様、イギリスについての興味・関心をもたせたい。
- 言語活動を充実させた活動による課題解決<展開>
疑問文とその応答文(一般動詞、be動詞)、曜日・月等の言い方、普段することを伝えるときに使う表現等、既習の語句と文法を中心に正しく発音させ、ペアやグループの中での会話に自信を持たせたい。また、疑問詞 when を用いた英文を使いたくなるような場面を設定することで、言語活動を活発化させたい。
- 集団の学びを個に返すまとめと評価<終末>
ペアやグループ(インタビュー)で会話した内容を集計し発表することで、本時の目標を振り返らせたい。

3 指導と評価の計画

1 年 英 語		単元 (題材) 名 PROGRAM7 Dilo the Dolphin		総時間 7時間扱い		
学習指導要領の指導事項			単元目標			
<p>【聞くこと (イ)】 質問や依頼などを聞いて、適切に応じること。</p> <p>【話すこと (イ)】 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークにおいて、間違ふことを恐れず話することができる。 ・疑問詞 who を用いて、人の名前等をたずねたり答えたりできる。 ・人を紹介するときに、目的格の代名詞「～を」「～に」ということばを使うことができる。 ・疑問詞 when を用いて、物事を行う時をたずねることができる。 			
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語知識・文化 に関する理解		
<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークにおいて、間違ふことを恐れず話そうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・目的格の代名詞him, her を使って、人を紹介することができる。 ・疑問詞who, whenを使って、聞き合うことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞whoを用いた文の構造を理解している。 ・目的格の代名詞him, herを用いた文の構造を理解している。 ・疑問詞whenを用いた文の構造を理解している。 		
時間	主な学習活動 ／評価規準		コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の 能力	言語知識・文化 に関する理解
1	<ul style="list-style-type: none"> ○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 ・ warm-upとして、イギリスについての質問に答える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人に名前などをたずねたり聞いたりする練習や、実際にたずねる活動において、間違いを恐れず英語を用いてたずねたり答えたりしようとしている。 <p>【ペア活動観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞whoやwhatを使って、名前などをたずねたり答えたりすることができる。 <p>【ワークシート】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞whoを用いた文の構造を理解している。 <p>【テスト(後日)】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 ○疑問詞whoを用いた文の構造を理解する。 ・教科書を通してwhoを用いた文の構造を知り、使い方を理解する。 ・疑問詞whoを用いた文を使えるように練習する。 					
3	<ul style="list-style-type: none"> ○目的格の代名詞him, herの使い方を理解する。 ○人について紹介する 		<ul style="list-style-type: none"> ・人を紹介する表現を使う練習や、実際に人を紹介する活動において、間違いを恐れず英語を用いて話そうとしている。 <p>【ペア活動観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代名詞の目的格を使って人について口頭で紹介することができる。 <p>【ワークシート】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・目的格の代名詞him, herの使い方を理解している。 <p>【テスト(後日)】</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・人を紹介する時の表現を理解し、紹介する練習をする。 					
5	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問詞whenを用いた文の構造を理解する。 ○物事を行う時の表現を理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・物事を行う時をたずねる練習や、実際にいつするかたずねる活動において、間違いを恐れず英語を用いて話そうとしている。 <p>【観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞whenを使って人にたずねたり、時を表す表現を使って答えることができる。 <p>【ワークシート】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞whenを用いた文の構造を理解している。 ・時を表す表現を理解している。 <p>【テスト(後日)】</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞whenを用いた文の構造を知る。 ・教科書を通して、whenの使い方を理解する ・教科書から物事を行う時に使われる表現を探す。 ・whenを用いた文を使えるように練習する。 <p>(本時 1/2)</p>					
7	<p><ペーパーテスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションする場面を設定したペーパーテストにおいて、人について紹介する時の表現や疑問詞who, whenといった文法事項に関する知識を得たかどうかをチェックする問題。 					<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞whoを用いた文の構造を理解している。 ・目的格の代名詞him, herの使い方を理解している。 ・疑問詞whenを用いた文の構造を理解している。

4 本時の指導 (5/7)

【既習の学習】 ＜文法事項＞ ・一般動詞の肯定文・疑問文 ・曜日・時刻で使う表現				
種	学習活動	学習内容	指導のための工夫	評価の視点・方法
導 入 1 0 分	1 warm-up (復習) 2 学習課題を 確認する	○Warm-up ・Speaking (Q&A) ○「いつ～？」と時をたずねる ときの表現 when の意味を確 認する。	○読める生徒と読めない 生徒の把握をし、教えあ いができるようにする	
	「いつ～するの？」とたずねたり答えたりしよう			
展 開 3 3 分	3 課題を追求する 4 Listening	○英語での質問に答えながら、 全体で「覚えよう！」の内容を 確認する。 ○CDを聞いて、リスニング問 題「聞いてみよう」に取り組 む。	○新規文法事項は最初音 声のみ聞かせて、内容を 想像させたり気付かせ る。 ○whenが文頭にくるこ と、読むときに最後が下 がることに気付かせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【関・意・態】 間違いを恐れずに、 英語を用いてたずね たり答えたりしよ うとする。 (評価方法：観察) A：英語らしい発音を意 識してやりとりできる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【表現】 疑問詞whenを用いな がら、たずねること ができる。また、そ れに答えることがで きる。 (評価方法：観察、シート) A：答えをフルセンテンス で答えることができる。 </div>
	5 Speaking 新出文型を使っ ての対話活動	○普段の生活について対話やイ ンタビューをする ①ペア活動 ②グループ活動 (インタビュー→集計) A: When do you (practice judo)? * watch TV, do your homework, take a bath, play games B: (On Sunday morning). * before dinner, after school, in the morning, in the evening	○対話で使用する語句は 自信をもって使えるよ うに、発音練習をしっか り行う。 ○できるだけ多く活動さ せる。また、暇な生徒が いないようにする。 ○インタビューで暇な生 徒が出ないように、質問 する相手を分担する。	
終 末 7 分	6 学習を振り返る 7 次時の学習内容 と宿題の確認	○インタビューの集計 ・言語活動で行った内容をま とめる ○次時の学習内容と宿題の確 認をする		
【別単元での学習】 ・『My Project3—どンドン質問しよう』では、自己紹介をもとに質問を考える。 ・これまで習ったYes/Noで答える疑問文と、疑問詞を使った疑問文の総復習をする。				